

元海軍軍人未處理者調署

死後者調書

2月21日

死後者
調書

古二同少

馬尾深白彎虎尾航臺方遠隊一二中隊和三中隊

天國三日昭和十五年七月

整備兵

入一號

海軍整備

航空整備

昭和十六年七月二日

海軍又海軍
海軍又海軍

爆風二千戰死人

卷一縣

昭和三十一年

六月十四日

白中州豊原

(二十九)

戰痕死

台中州豊原ニテ防空壕送築中爆風ニテ歿死

右ノ

人
事
件
事
件

警備兵長

事
件
事
件

右ノ

虎尾航空隊台中分遣隊イニテ中隊和中隊

事
件
事
件

右の如前過して為ますから半時致し

昭和三十一年十月廿日

23年8月14日發表

元海軍軍屬未復員者調查票

卷之三

元海軍軍屬未復員者調査票									
通報番号	支派 は姓 船名	身分 氏	名	生年月日	本籍 県 市町村	現籍 県 市町村	在籍 年月日	元籍 年月日	
	海屬 イ賀員								
	留守者 姓 名	続柄 姓 名							
	職業 名	職業 名	家族の承知されたる情況						
	用事類、改用、現地探査の別を記入して下さい	職業 名	司教官、船長、書記、甲板、兵士等の別を記入して下さい	内情	内情	内情	内情	内情	
	採用又は借用年月日	採用又は借用年月日	昭和二十一年一月十五日	内情	内情	内情	内情	内情	
	反部隊名	反部隊名	作業係に召集され、三笠廠神倉工場にて勤務	内情	内情	内情	内情	内情	
	船員は船名及船番	船員は船名及船番	外埠動搖の部隊名及場所	内情	内情	内情	内情	内情	
	本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	検閲者印へ	検閲者印へ	検閲者印へ	検閲者印へ	検閲者印へ	検閲者印へ	
	内容	内容	差出日附へ	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	はい	はい	受領年月日へ	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	歸還者からの情報	歸還者からの情報	(船舶の方は本欄に未処理者個人に対する事項) (自分の風にしてわたくしの部隊の情報を記入して下さい)						
	未処理者個人に対する情報	未処理者個人に対する情報	船舶の属してゐた部隊の情報						
	情報提供者	部隊	身分 氏	名	この欄には所属部隊の行動、機関状況(艦船事故ならその状況)を詳しく書いて下さい				
	同右現住所				(特に場所、年月日を決らさない様にして下さい)				
	入た人たかから入った人たかから又何時で何時で下されを記入して下さい	入た人たかから入った人たかから又何時で何時で下されを記入して下さい	船舶に於て二ヶ月前より勤務	船舶に於て二ヶ月前より勤務	船舶に於て二ヶ月前より勤務	船舶に於て二ヶ月前より勤務	船舶に於て二ヶ月前より勤務	船舶に於て二ヶ月前より勤務	
	戦歴者でしたらその状況を本欄に記入して下さい	戦歴者でしたらその状況を本欄に記入して下さい	死亡 因 戦死	死亡 因 戰死	死亡 因 戰死	死亡 因 戰死	死亡 因 戰死	死亡 因 戰死	
	死亡が病死なら病死して下さい	死亡が病死なら病死して下さい	死亡年月日 昭和二十一年一月一日	死亡年月日 昭和二十一年一月一日	死亡年月日 昭和二十一年一月一日	死亡年月日 昭和二十一年一月一日	死亡年月日 昭和二十一年一月一日	死亡年月日 昭和二十一年一月一日	
	行方不明ならばその状況を記入して下さい	行方不明ならばその状況を記入して下さい	原因	原因	原因	原因	原因	原因	
	備考	他に本人の住所を記入して下さい	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	

死没者調査

本籍地	規格
新義郎隊	アリスニ特別產戰隊
入國年月	昭和十六年六月
登記番号	五〇一六
勤務ノ概要	アリスニ特別產戰隊
資格(受傷年月日)	昭和十八年十月五日
病歴(受傷年月日)	アリスニ特別產戰隊
死没年月日	昭和二年四月二十九日
死没原因	熱帶性マラリヤ

昭和三十一年

四月五日

本籍地
現庄所

所屬別所

新設防護網下松丸

官守級

氏名

佈加

番號

四

相

年

月

日

年

月

日

年

月

日

年

月

日

(一) 本調書

八切牌長又

候移取

者等

昇進

後角局人

事

制

免

通報

之

責任者

添手

知行

事

記載

入

(二) 美篠在籍

時務士官

准士官

下士官

兵

記載

入

同府縣人

分論

他府縣出身者

就毛記載

入

知行

事

記載

入

記載

入

(三) 知行

八切牌長又

候移取

者等

昇進

後角局人

事

制

免

通報

之

責任者

添手

知行

事

記載

入

記載

入

(四) 他人

八切牌長又

候移取

者等

昇進

後角局人

事

制

免

通報

之

責任者

添手

知行

事

記載

入

記載

入

附錄

381-10

元海軍軍屬未處理者調書

(冲繩) 大島用

23

歸還者からの情報 (歸還者の方は本欄に未處理者個人に對すること)		未處理者個人に對する情報 (自分の屬してゐた部隊の情報を記入して下さい)		歸還者の屬してゐた部隊の情報	
情報提供者	部隊身分	氏名	名	二の欄には所属部隊の行動、戦闘状況 (艦船事故ならその状況) を詳しく書いて下さい	(特に場所、年月日を決らない様にして下さい)
同右現住所					
本人さは何處で何時から何時迄一緒にいたが又別れる時の本人の状況はこうでしたかそれを本欄に記入して下さい					
戰友者でしたらその状況を本欄に記入して下さい	死因	死亡年月日			
(死亡か病死なら別に名を記入して下さい)	死亡の場所				
行方不明か過亡者ならその状況を記入して下さい	原因	年月日			
他に本人の消息をよく知つてゐると思はれる方の住所氏名を記入して下さい	場所				
参考					

（20.6.14 戰死記録）

123-10

某人處主理

B. 1. 五

現況不明者消息調查依賴票小二年八月六日

吳地方復員局人事部

120

本部		特種		選任	
事項	名	本	舊	地	等級
所轄名	立川中尉	本	舊	地	等級
事項	參考	主官	舊	地	等級
事項	遣音アリ(原譯)	主官	舊	地	等級
事項	追加	主官	舊	地	等級
事項	追加	主官	舊	地	等級
事項	追加	主官	舊	地	等級
事項	追加	主官	舊	地	等級

(一) 次第二行文不明年月日及其滿所未明確。不知何處。或在某處。或在某處。或在某處。或在某處。

ても舊情あるから暫めて記註しておこう。(二) 消息を確認するが、他人の得失知得事項を多く必ず記註しておこう。

(三) 本票以外は、戦災の未済者と御存じの際は追記しておこう。

(四) 各事務處人事部履歴を逐次下記。

寫 第六號ノ六

滋賀地方世話部第二復員課

戰死存者 確認報告告

報告者ノ當時ノ所轄(部隊)
名

沖縄根據地司令部

報告者ノ官職氏名(電報符)

海軍機関兵長

報告者ノ本籍地及ビ現住所

所轄官職

氏名

(電報符又ハ
入籍番號)

出身地

(生残又ハ
戦死区分
年月日)

確

認

狀

況

沖縄

中尉

(電報符又ハ
入籍番號)

出身地

(生残又ハ
戦死区分
年月日)

確

認

狀

況

戰死
20612 沖縄小祿

自決

連絡番号
昭和16年9月

元海軍軍属未復員者調査票

又派 は遣 船元 名題	身 分	氏 名	生年月日	本 現 住	所地
輸	軍属	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
留守担当者	職柄	氏 名	現	市郡	村字
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
家族の承知されていける情況					
職名	用志頭、櫛用、現地探 尋の別用、 採用又は候用年月日	姓 司政官、駆逐艦長、甲板枝 の別工具記入して下さい	内地出港年月日、場 所を記入して下さい	内地出港年月日、場 所を記入して下さい	
及部隊名	〔船員は船名及船主〕	現役候用	〔船員は船名及船主〕	〔船員は船名及船主〕	
場外勤務の部隊名及 所	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
本人からの最後の手 紙に就いて御記入下 さい	受領年月日附 印へ	部隊符號 年 月 日	内 容	家族登録の情況と お詫び下さい	内 容
	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
歸還者からの情報 (歸還者の方は本欄に未乗組者個人に對するこ と) (自己の屬していいた部隊の情報を記入して下さい)					
未乗組者個人に對する情報			歸還者の屬していいた部隊の情報		
情報提供者	部隊	身分 氏名	この欄には所屬部隊の行動、就学状況(艦船事故ならその狀 況)を詳しく書いて下さい		
同右現住所	[REDACTED]	[REDACTED]	特に場所、年月日を記入して下さい		
入人たから人とは何時 でそれ况はどじうでし 下さを記入して下さい	北洋十九年八月三日八時半深	北洋十九年八月三日八時半深	長へ入院と同日に北洋十九年九月廿四日まで		
戰殘者でしたその 状況を本欄に記入し て下さい	死亡 因	戰死 死因	那戦艦航行して作業を行なって居たが、作業中に従事して同年 十一月廿九日午後十二時半左右に爆破され、火災行		
死亡か病死なら病 死を記入して下さい	死亡年月日	死亡の場所	難船に火災が発生して船内に燃え広がり、火災が船内に燃え広が り、火災が船内に燃え広がります。		
行方不明ならばその 状況を記入して下さい	原 因	状況	火災が船内に燃え広がります。		
他に本欄に記入して下さい	年 月 日	[REDACTED]	火災が船内に燃え広がります。		
備考	場所	[REDACTED]	火災が船内に燃え広がります。		
本人はこれまでに各の作業日々の班長でありました。尚本人は本船を乗組 中夜氣りが付き、其後連絡が取れました。					

昭和16年9月

6268

元海軍軍人赤復員者調査票

送付番号	支拂は進船元名	身分	氏名	生年月日	本籍地
留守担当者	軍属	職柄	[REDACTED]	[REDACTED]	現市町村
職名	司政官、醫託、書記、下甲板員等の別を記入して下さい	姓	[REDACTED]	姓	所在地
採用又は借用年月日及部隊名	昭和19年5月30日 海軍連輸隊佐少佐	年	月	年	月
場外勤務の部隊名及船名	海軍連輸隊佐少佐	月	日	月	日
本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	内 容	家族が渡受領の情況と並書つて下さい			
未處理者個人に対する情報	歸還者から的情報(歸還者の方は本欄に未處理者個人に対するごとに部隊の情報を記入して下さい)				
情報提供者	部隊	身分	氏名	歸還者の屬していた部隊の情報	
問 右 現住所	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	この欄には所属部隊の行動、戦闘状況(艦船事故ならその状況)を詳しく書いて下さい	
歸還者ではたらきの状況を本欄に記入して下さい	死 因	戰死 年月日	[REDACTED]	特に場所、年月日を記入下さい	
死亡か病死なら病状を記入して下さい	死 亡の場所	[REDACTED]	[REDACTED]	本欄に記入して下さい	
行方不明ならばその状況を記入して下さい	原 因	年 月 日	[REDACTED]	この欄には所属部隊の行動、戦闘状況(艦船事故ならその状況)を詳しく書いて下さい	
備 考	場 所	[REDACTED]	[REDACTED]	特に場所、年月日を記入下さい	

56253

卷之三

本 地 地 所 處 住 所	火 燒 年 月 昭和九年三月	言 等 職 業	父 主 姓 氏 年 月 日	母 主 姓 氏 年 月 日	夫 妻 姓 氏 年 月 日	女 女 姓 氏 年 月 日	入 院 醫 院
現 處 所	四年三月廿四日	言 等 職 業	昭和十九年八月十日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	新嘉坡
外 地 到 着 年 月 日	四年三月廿四日	言 等 職 業	昭和十九年八月十日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	新嘉坡
就 務 、 職 業	右大便部破裂曾割創	言 等 職 業	昭和十九年八月十日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	新嘉坡
發病 受傷)	昭和九年三月廿四日	言 等 職 業	昭和十九年八月十日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	新嘉坡
病名 (受傷部位)	右大便部破裂曾割創	言 等 職 業	昭和十九年八月十日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	新嘉坡
發病 受傷)	昭和九年三月廿四日	言 等 職 業	昭和十九年八月十日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	昭和十九年八月十三日	新嘉坡

198

6270

死亡年月日

昭和廿六年五月廿四日

九時四十分在軍隊元於

右申時

昭和二年五月廿五日

本籍地	現住所	姓	氏
[REDACTED]	[REDACTED]	高木	義

備考

- 〔一〕本關署ハ品政長又ハ殘務取扱者等ニ於テ吳知方復興局人事部長宿連報シ非スト露
ムルモノミニ付記致ス
- 〔二〕吳鎮在尋メ特務士官・准士官・下士官・兵ニ付記致ス
- 〔三〕同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
- 〔四〕知得シアル範囲ニ於テ出來得ル限り詳細ニ記載ス
- 〔五〕他人ヨリ期キテ承知シタル奉須ハ各當該門ニ相手方ヲ記載ス
- 〔六〕送付先

吳市

吳知方復興局人事部長宛

485-10

元海軍軍屬未復員者調查票

۱۷۲

428

30

元海軍軍屬未復員者調査票									
連絡番号	30	又派は運船名號	身分	氏名	生年月日	本籍	生籍	小姓	
留守擔當者	チヨウ	就柄	氏名			縣	郡	村字	
職務	兵	職名				現	住	所	
用志類、啟用、現地探査等の別用	チヨウ	等手司佐官、御船、書記、甲板、目技等の副を記入して下さい	チヨウ						
採用又は歛用年月日及部隊名	昭和十九年三月一日	・イタリア							
出外地勤務の部隊名及	イタリア	イタリア							
本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	内客	差出日附(年月日) / 年月日	受領年月日(年月日)	部隊符号(年月日)	部隊を書いて下さい	一、知者がありませんか通じて下さい	チヨウ	チヨウ	
情報提供者	チヨウ	身分	氏名		二、知者がありますか通じて下さい	チヨウ	チヨウ	チヨウ	
同右現住所					三、其の他の個人情報を記入して下さい	チヨウ	チヨウ	チヨウ	
記入した人が又何時何處で何時何處に在る時その状況を本欄に記入して下さい					チヨウ	チヨウ	チヨウ	チヨウ	
記入した人が死んだ場合の状況を本欄に記入して下さい	死亡	死亡原因	北		チヨウ	チヨウ	チヨウ	チヨウ	
行方不明ならばその状況を記入して下さい	年月日	死亡年月日	昭和二十年三月三日		チヨウ	チヨウ	チヨウ	チヨウ	
記入した人に本人の消息をうながす方法を記入して下さい	場所	死亡の場所	蘇聯蘇聯		チヨウ	チヨウ	チヨウ	チヨウ	
備考	記入した場合はもれなく必ず此欄と欄子を記入して下さい。								

6272

元海軍軍人現況不明者調書

整理番號 ト63

被徴用軍人		留守者		現況		本籍	
報名	供給	氏名	籍柄	氏名	現	地	入籍番號
の隊部	所屬部隊に關するもの <small>(これ以上に詳細且つ正確な情報があるときは別紙に記載のこと)</small>	内地歸還年月日 <small>昭和二十一年五月四日</small>	部隊等級 <small>沖根司上水</small>	一、(1)遣外有無 <small>(回)遺留品有無</small>	縣市郡村町大字	本籍	籍地
二、内地出發の時期及び場所 <small>昭和二十一年五月四日</small>	一、組成の時期及び場所 <small>昭和二十一年五月四日</small>	現況不明者個人に關するもの <small>現況不明者個人に關するもの</small>	現住所	戰死(行方不明)の場所 <small>戰死(行方不明)の原因</small>	戰死(行方不明)の原因 <small>戰死(行方不明)の原因</small>	戰死(行方不明)の原因 <small>戰死(行方不明)の原因</small>	戰死(行方不明)の原因 <small>戰死(行方不明)の原因</small>
三、退出要領	二、その時の本	二、内地出發の時期及び場所 <small>昭和二十一年五月四日</small>	二、本拠とは何處にいたか <small>昭和二十一年五月四日</small>	二、その時の本	二、その時の本	二、その時の本	二、その時の本

説
明

書

第三五號變辛丸操機長

同

操機手

（元）海軍少屬

別紙、通減病死セラレ候ニ

付手

右御證明申上候也

昭和三十一年三月十八日

戰病死傷報

第三海軍支那操縱長

同

操縱手

一 大島防備隊微明號第三十五號變革丸組員元海軍久萬
甲板長 [REDACTED] 昭和二十一年六月拾八日十四時大島防備隊
銳池ニ於操機グラマン四機ノ數回ナル爆轟ヲ受ケ右足切斷左
足重傷同隊兩院ニ於テ手當中七月十三日四時戰病死セレ
七月十三日十時同病院附道至テ火葬七月十五日大島防備隊ノ號
潛水艦ヲ待キテ佐世保人事部ニ搬送附致シ候

昭和二十一年三月十八日

本 番 記	西 段 指 示
身 體 部 分	拿 繩 二 詞
人 口 部 分	依 此 件 錢 府 辦 事 處 各 隊 東 部
手 部 分	一 等 外 交 民 政 部
腳 部 分	路 上 一 七 回 上 名 字
腰 部 分	長 城 虎 門 海 港
頭 部 分	國 人 武 昌 縣 人 民 公 司

西ノス

敵機三襲底、對空戰上昇、爆彈投下、即刻大爆、生

死

の其の下平、又不

死亡千月古

時三時半一時半

口

新嘉坡、即時

死

死亡千月古

時三時半一時半

口

新嘉坡、即時

死

申告者

上等水兵

名

入讀日記

名

本籍

名

現主

名

所屬部隊

名

佐世保鎮守府、船泊警戒隊、東那丸

正當、增加點此印加二級關防

死因調書

昭和二年十一月廿日

年 月 日	地 名	姓 名	性 別	年 齢	病 名	死 因	死 體	處 理	備 註
昭和十二年十一月廿日	新潟市	佐々木喜一郎	男	三十五	肺結核	咯血	死	火葬	火葬場付入火
昭和十二年十一月廿日	新潟市	佐々木喜一郎	男	三十五	肺結核	咯血	死	火葬	火葬場付入火
昭和十二年十一月廿日	新潟市	佐々木喜一郎	男	三十五	肺結核	咯血	死	火葬	火葬場付入火
昭和十二年十一月廿日	新潟市	佐々木喜一郎	男	三十五	肺結核	咯血	死	火葬	火葬場付入火

本院へ次第レ
ハ新規事の狀況
元仁年月日時時事報

卷之三

卷之三

三

8

アリテ、此處ハ力當ノ事例也。且、古事記、舊約全書等ニ、其記載入
リ只物シアル候間々也。又出外者レ居ラサ母ヘ松原ス
シテ、人ヨリテテテキアホ知シタシ事、頃ハ名前無體也。因ル
而見得シト。イ事、古ヨメイテ心記載シナカニハヨイ
事也。學者ハ皆謂之大

現況不明者究明調書

(調査期日所)

六月

1

名簿索引		部隊	等級・身分	氏名
年	月	日	五十一營	二中
西	八	一	西	身府縣所管復員局方
年	月	日	西	入籍番號・軍屬は源種元
西	八	一	西	役・機・獎・佐・千島
年	月	日	西	五十一營第一團自軍進攻爲社人15丁傳達外五六隻船船團以本東 海防艦護衛船以本同海下云港江口至1.16敵雷擊及復ヶ傳達 九流民生存者日本軍乘船及救助2孔再び汽船に上乗して1.17正午より 即ち朝の11時より傳達九流東江に居たる諸中止見遣ら御水 兵の被子同丁達難者ハ合同難避ひ船に何れも勇敢外多く名前付 覺え難いもの多かル君其の時ハ戰船若者に入れて居る事御聞 達御存以上自和田見一（此ノ下の項既此作千島に準着法） 章子聞（以下略）下記二名は証事同防（略）
西	八	一	西	二中
年	月	日	西	二中
西	八	一	西	住 所 級 別 民 名
年	月	日	西	申 族
西	八	一	西	住 所 部隊等級 復員者 分ノ等 二中
年	月	日	西	調査課
西	八	一	西	官所見入
年	月	日	西	解説 戰役認定主導上認（略） 但し記事公所についての調査課下

1. 本調書は甲號一、乙號三ヒ製製する
 2. 甲號……越べて調査官にて記入し(船筆書にて可)御審人へ送付する
 3. 乙號……御審人にて甲號により三通製製
 4. 調査事務課へ一通
所管復興局へ一通
同 此添函へ一通(貢賈局經由) } 送付する
 5. 本欄は御審人で記入する

168

(乙)

現況不明者究明調書 (調査期日所
場 7月 24日 鶴岡)

被	名簿索引	部	隊	等級・身分	氏	名			
人	60 號五一警上串								
第	出身	府	縣	所管	復員局	方			
八						面 入籍番號・軍属は譲渡元			
號	二・横・吳・佐・千島								
舞	事	五十一警房一回目致道の為スル。6.15 博愛丸外三六隻の船間に 於東洋海陸通商の半島片岡湾本土港至 6.16 敵前奪取後生博 愛丸沉没生存者口五十一配備船に救助され原片岡に於されたり 下落不明自ら同様に博愛丸便東日本。君は生存者中より島崎 吉之助、其の後序回丁度難有る合同葬をやつたがいり更に敵船 多々名前は見えぬしおかづれど君は其の時の戰死者に入り 居る。2月間道は方いと自らと思ふ。							
蹈	項	用	家	住	所	職	稱	氏	名
地	告	族							
石	復	復員者	住	所	部隊等級	兵	名		
復	員		五十一警 二・串						
員	調	世							
殘	查	活							
務	官	課							
處	所	見	戰死認定並當に認める						
理	日								

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……越へて調査官にて記入し（船録書にて可）郵便局に送付する
3. 乙號……郵便局にて甲號により三通調製
 調査世話課へ一通
 所管復員局へ一通 } 送付する
 同 指揮課へ一通（復員局經由）
 4. 並欄は略記入で記入する

112

(乙)

現況不明者究明調書 (調査期日 7月7日)

級 一 一 八 號	名簿索引	第	政	等級・身分	氏	者
	61/頁五十一番ニ當				[REDACTED]	
出身府縣	所轄	役員局	方	面	入籍番號・軍屬は振込元	
[REDACTED] 二・横・外・佐・ ⁽²⁾				千鳥		
申告部	五十一年度第二回目就連つ為ゆく、公付博愛九外五六隻々船間に本東洋 赤地獄船にて片國清三出港したが望。11歳留學後付内陸 九流及生有者四十一配水船と救助ヨリ再び本國に來りたるにあらず か自分と同様に博愛丸便東洋、君れ生在港中に見當に知つ て、其の後片國で遭難者の命を救ひ水劫河濱黄敷船で運ば 名前も覚えぬれしかづけ。未だ其物時々戰化病に入りて居 3事は間違ひないと自分は思ふ。					
舞鶴地方復員残務處理部	項	住	所	職柄	氏	名
復員者	姓	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
調査官所見	世話課	住	所	部隊等級	氏	名
		[REDACTED]	[REDACTED]	五十一年	[REDACTED]	[REDACTED]
次 外 三十 日	調査官所見	戰死認定至當と認め 舞鶴復員人				

1. 本調査は甲號一、乙號三を調査する
2. 甲號……總て調査官にて記入し（鉛筆書にて可）舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人に甲號により三通調製
4. 調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通（復員局經由）} 交付する
5. ※標は舞復人で記入する

⑦

現況不明者究明調書 (調査期日 令月 7 日)

名簿索引	部隊	等級・肩分	氏名
61/51	五十一警	二 曹	[REDACTED]
出身府県	所管直員局	方	面 入籍番號・軍籍は該道元
[REDACTED]	[REDACTED]	二・横・見・佐・	千鳥
申告者	五十一警は一回目車運の為不本意で博愛九外出五、六隻の旅船に乗 海防船連絡船の半ばに片岡港にて上陸し此地にて敵雷撃を受ける事 九度被生着は人手一配替、船に救助され片岡にて火災したので而 且おと同じ博愛丸に便乗して [REDACTED] 着生着中に見當らぬがつ 其の後片岡にて連絡船の令和丸にてやつて何處か多く名前は 覚えられ方がつかない [REDACTED] 着生着の時戦死者に入つた事は間違 ないと思ひ是れ 以下記四名は記事同一である		
事項	上曹	上中	[REDACTED]
申告者	姓	所	種類 捅 氏名
復員者	[REDACTED]	[REDACTED]	五十一警 上中 [REDACTED]
調査官	姓	所	種類 捅 氏名
監督課	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
官所	調査認定至高に認める 		
見人			

1. 本調査は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……控えて調査官にて記入し(鉛筆書にて可)舞鶴人に送付する
3. 乙號……舞鶴人にて甲號により三通調製。
 調査班詔書へ一通
 所管直員局へ一通 } 送付する
 同 世活課へ一通(復員局經由)
4. 该欄は舞鶴人で記入する

(7)

現況不明者究明調書 (調査期日 月 日)

姓	名	籍奉引	部隊等級・身分	氏名
五十一警水長				
出	身	所	管	員
府縣 万				
告	復	二・換・見・化	千島	
申	五十一警水長 6月10日博愛丸外正六度ノ船内 海防艇乗組員として片岡鶴琴去港江里人、本丸は四艘 洋子で敵雷母艦に遭遇され沈没(他方魚雷大分吹きぬか) 生存者は主に配備艇上救助せられにげたが自らヒ同士博愛丸 に乗りついた。生存者中に見當らぬにつき生存者は救助後又片岡 に乗り其の後同地に遭難者の合団葬儀が近くに陳す の靈上漸く死を確かに見てのうて戦死と判明した。さる は 1915年同軍事アリ同縣人アリ又同期に石原ヨル同部隊 に配属され大間隔上自らの歿を親しむ仲である			
家	住	所	籍	姓 名
申				
告	復	二	五十一警	水長
者				
調	世			
査	活			
官	課			
所	公	立戰役主當認める		
復				
見	入			

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號…總て調査官にて記入し(鉛筆書にて可)検査人に送付する
3. 乙號…検査人にて甲號により三通調製
4. 調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
局長書話課へ一通(復員局經由) } 送付する
5. 案欄は検査人で記入する

58

6286

元海軍軍人未復員者調査票

連絡番号	登録年月日 昭和16年1月15日	等級 軍属	氏名 [REDACTED]	生年月日 [REDACTED]	本籍 [REDACTED] 市町村 [REDACTED] 村字	現地 [REDACTED] 市町村 [REDACTED] 村字
留守擔当者	就柄 姓	就柄 姓	名 [REDACTED]	現 [REDACTED]	住 [REDACTED]	所 [REDACTED]
家族の承知されてゐる情況						
本人からの最後の手紙に記して御記入下さい	受領年月日 昭和17年1月15日	差出日附 昭和17年1月15日	検閲着印 内容 [REDACTED] [REDACTED]	「船隊員から何か通知がありましたか ご連絡者から何か通知 その他のこととか何か通知 以上ありましたらそれを母にて通知して下さい 人の住所氏名を母にて下さい	家族が連絡してある事 うひうひか連絡 馬鹿 山面にて放船砲破壊 大根部に傷を負ふ時前後で戦死 したがが子と河一	
内地出発年月日、場所、乗船名、行先がわかりますなら書き下下さい						
乗組登録の情況と乗組つたる部隊を記入下さい				其の他の人に就いて 参考になることを書いて下さい		
帰還者からの情報 (帰還者の方は本欄に未処理者個人に対するここと 自分の屬してゐた部隊の情報を記入して下さい)						
未処理者個人に対する情報	情報提供者 軍属	部隊 軍属	等級 軍属	氏名 [REDACTED]	入籍番号 [REDACTED]	帰還者の属してゐた部隊の情報
同右現住所	[REDACTED]					この欄には所属部隊の行動、機関状況(艦船事故ならその状況)を詳しく書いて下さい (特に場所、年月日を強調しない様にして下さい)
入た人たちは本船から何時何分で何時何分で船内に登船されると記入して下さい	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
乗組若でしたらその状況を本欄に記入して下さい 死亡か病死なら病名を記入して下さい	死 死亡年月日 昭和22年1月15日	因 死亡の場所 沖縄本島方面	戰 状況 死と激戦	[REDACTED]	[REDACTED]	
行方不明者ならばその状況を記入して下さい	原 年月日 [REDACTED]	因 場所 [REDACTED]				
記入する知り本人の消息をよしの住所民名を記入して下さい						
備考						

現訖證明書

昭和二年三月三日

元海軍少佐
藤原第三朝洋丸
機関長

第三朝洋丸船長
於敵艦擊沉中乘難二審判昭和三年五月一日
右證明人

右

69
11243
6月2日
現地不開口消風箇書へ昭和八年五月四日

吳人第五課ノ主ハノウム

東地方復興局人事課

116

姓	名	年齢	性別	職業	学年	學科	在籍番號	入籍年	特技等	病歴	其の他	備考	其の他	年齢	性別	職業	学年	学科	在籍番號	入籍年	特技等	病歴	其の他	備考					
大	村	三十	男	農業	中等	農業																							
昭和ニ年六月イ日												昭和ニ年六月イ日																	
（元）候事項に指定でも結構ですから記入して下さい												（元）候事項に指定でも結構ですから記入して下さい																	

元海軍軍屬未復員者調査票

連絡番号	又派 は遣 船元 名題 非新他 海軍 へ事部 留守擔當者 者	身分 氏 名 軍屬 軍屬	生年月日 本 県 市郡 町 村字	所在地 生籍 地 所
現住地 所	現住地 所 縣 市郡 町 村字			
家族の承知されたる情況				
職名 職 業	司政官、隊長、書記、書記、傳令 等の別を記入して下さい。(食糧運搬士)	内所乗船名、年月日、 下かりますから暫いて下さい	現地	陸上勤務(人等部)
採用又は就用年月日 及部隊名 船員は船名及船主 船員は船名及船主	昭和十九年九月一日 海軍新潟地方海軍へ事部 新潟 海軍大佐	家族被受領の情況と 取扱かつてゐる種類 部を書いて下さい	命科日親 参合大司 文護手当 參合大司	昭和十九年九月一日
場所 外地服務の部隊名及 場所	新潟地方海軍へ事部 新潟 海軍大佐	一、知がありませんか 二、知がありませんか 三、其の他のとごろが ありますか 四、其の他のとごろが ありますか	昭和十九年九月一日 新潟地方海軍へ事部 新潟 海軍大佐	昭和十九年九月一日 新潟地方海軍へ事部 新潟 海軍大佐
本人からの最後の手 紙に就いて御記入下 さい	差出年月日 受領年月日 内郵便	差出年月日 受領年月日 内郵便	差出年月日 受領年月日 内郵便	差出年月日 受領年月日 内郵便
歸還者からの情報 (帰還者は本題に未處理者個人に対するこ とでなく、本題の情報と記入して下さい)				
未処理者個人に対する情報 情報提供者 同右現住所	未処理者個人に対する情報 情報提供者 新潟地方海軍へ事部 新潟 海軍大佐	帰還者の爲しての部隊の情報 この欄には所属部隊の行動、撤退状況(艦船事故ならその状 況)を詳しく書いて下さい	帰還者の爲しての部隊の情報 この欄には所属部隊の行動、撤退状況(艦船事故ならその状 況)を詳しく書いて下さい	
現役者でしたらその 状況を本欄に記入し て下さい い名を記入して下さい 行方不明ならばその 状況を記入して下さい 備考	死 死亡年月日 死亡の場所 場所	死 死亡年月日 死亡の場所 場所	主、食糧運搬工大工等として居た 元海軍人や新潟海軍	
			現役者元海軍新潟地方海軍へ事部新潟 海軍上等主計五等	

卷之三

元和集

元和集

齊化年月。元和年月二十六日

集始作。博雅九有約家多

后始作。博雅多作。劉揚子

物造輪國。兩作。劉揚子

國。劉揚子。劉揚子。劉揚子

齊化年月二十六日。元和年月二十六日。

首上約四寸。化素。頭額。身首。腰

足。頭額。身首。腰。足。頭額。身首。腰

足。頭額。身首。腰。足。頭額。身首。腰

卷之三

元和集

元和集

元和集

謂雖有良醫妙力。又乏良藥。必死。中。有先生。醫活此女。相助。多出。其恩。如海。人。會。此。等。緣。事。當。所。謂。之。難。鎖。左。右。走。者。不。以。嘲。怨。能。解。於。彼。五。十一。醫。術。清。白。某。後。百。行。年。之。醫。院。生。少。少。某。乃。行。年。三。十五。日。現。地。上。施。所。到。小。今。考。

以上。小。考。入。中。考。

人事。了。即。中。

二。仲。生。有。看。我。寫。一。脚。上。而。十。海。隊。
七。十。一。車。七。油。消。勝。之。行。下。八。月。十。八。
片。國。下。十。大。十。增。之。流。于。日。大。連。通。
日。聯。鍊。你。入。隊。之。復。負。軍。備。之。連。通。
復。負。軍。備。之。連。通。中。考。考。上。

第
一
号
號

海軍戰地無報事件第壹號

戰生存者 確告 十月十五日送付

報告者ノ當時ノ所轄(部隊)
(名)

第五十一號備隊

報告者ノ官職氏名(電報符)
(入籍番號)

海軍上等兵

報告者ノ本籍地及ビ現住所

所轄官職 氏
(名)

入籍番號 出身地

生存又ハ
戰死區分
年月日

場

所一狀

況

況

上等
兵

死七
二六一八

李愛九

確實

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

右兩名之主筆備隊
水兵水手同
勤務于
因是之故
五
軍備處及一部施設部
六月二日
於敵港
海軍
之主副船
件
月五日
前名
數此確實

②桂軍志口音舌

大都九
時送付

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

24.10.17

180-11

6293

甲

現況不明者究明調書 (調査期日 10月7日)

臺	名稱索引	第	原	等級・身分	氏	名
		五十一號	一林雪			
號	出生年月	開管在員所	方	面	入籍地點・軍屬は無	
		二・横・東・京	午	鳥		
舞鶴地方復員者處理部	申告事項	調査九、復葉(北千浦)にて				
		226. 8. 22. 調査九(横須賀東北千浦)				
		227. 8. 22. 公認 210 番				
調査官所見	住	姓	籍	居	氏	名
申告者	姓	所	籍	居	氏	名
	五十一號		一林雪			
	上記は舞鶴人である。申告者の言葉を 確實性をみて					
	調査官	舞	復	員	人	

- 本調書は甲欄一、乙欄三を調取る。
- 甲欄……總て調査官にて記入し(鉛筆書にて可)郵便人に送付する。
- 乙欄……郵便人にて甲欄により三箇調取
調査官へ一通
所管復員局へ一通
同 計画課へ一通(復員局経由)
- ※欄は郵便人で記入する

89-16

乙

現況不明者究明調書 (調査期日 支那 年月日)

該名調査引取人	除隊級・身分	氏名
61頁 51 警上中		[REDACTED]
出身府縣所管舊員局方	面入籍番號・軍屬社派遺元	
[REDACTED] 二・横・臭・佐・ ^(印)		

舞鶴地方復員残務處理部

承
十月
四
日

甲 乙618 博愛丸で戦死

告
事
項

申告者	住所	報稱	氏名
鉄道員	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
直轄者	住所	部隊等級	氏名
[REDACTED]	[REDACTED]	少尉	[REDACTED]

戦死の事に處理至る

調査官	電話課	見入
調査官所	調査官所	見入
26.11.26 戦死 北千島 26.11.26 公表 みたる		

1. 本調書は甲號一、乙號三と調製する
 2. 甲號……總て調査官にて記入し（铅筆書にて可）郵便人へ送付する
 3. 乙號……郵便人にて甲號により三種調製

- 調査官所へ一通
 郵便局へ一通 } 送付する
 同 電話課へ一通 (電員局經由)
 4. 本欄は郵便人で記入する

50

6295

(乙) 現況不明者究明調書 (調査期日 1月14日)
 調査場所 新潟市向山

被疑者番号	部隊	等級・身分	氏名
四一	六五一小隊	一中	[REDACTED]
出身府県	所管復員局	方	入籍番號・軍属は異種元
[REDACTED]	[REDACTED]	二・横・久・佐・四	千鳥
市	新潟市	千鳥	[REDACTED]
年齢	21歳	千鳥	[REDACTED]
舞鶴地方復員復務處理部	年	千鳥	[REDACTED]
號	新	千鳥	[REDACTED]
被疑者	被疑者	千鳥	氏名
調査官	住 所	部隊番號	氏名
登記官	[REDACTED]	五一小隊	[REDACTED]
見	上中	[REDACTED]	[REDACTED]
調査官	中告の通報が確認されるか 上中につき調査を要す		
見	舞鶴地方復員復務處理部へ一通 同世話課へ一通 (復員局經由)		
見	舞鶴地方復員復務處理部へ一通		
見	舞鶴地方復員復務處理部へ一通		
見	舞鶴地方復員復務處理部へ一通		

1. 本調査は甲號一、乙號三と調査する
2. 甲號……地べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可)舞鶴人に送付する
3. 乙號……被疑人にて甲號により三通調査
4. 調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同世話課へ一通(復員局經由)
5. 被疑は被質人で記入する

X6

(甲)

現況不明者究明調書 (調査期日 仁月ノ日)
所轄地政課

原名前姓別	姓	氏	名
西江十一號 一喜			
出身府県	所籍行員局	方	在大高職業及年齢
[REDACTED]	二・横・吳・松	千鶴	[REDACTED]
申告事由	上場 [REDACTED] (同上) を同母 兄弟子として		
申告者	住所	姓	名
被申告者	住所	姓	名
調査官署	上場 20. 6. 18 調査官署		
調査官署	上場 20. 6. 18 調査官署		
見回人	一ノク 女人 比子武 二ノク 女人 沢田 錦		

本調査は甲號一、乙號三を調査する
甲號……概べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可)鉛筆にて記入する
乙號……被申告人にて甲號により三項調査

調査官署へ一通
新規役員局へ一通
新規役員局へ一通 (新規局理由)
も又は被申告人で記入する

(乙)

現況不明者究明調書 (調査期日 7月7日)

姓	名	苗字	氏名	身分	職業	年齢	部隊	部隊番号	部隊番号
1151 警水長 [REDACTED]									
出	入	身	職	年	月	日	方	地	方
國	島	復	員	復	員	復	軍	軍	軍
告	千	復	員	復	員	復	軍	軍	軍
申	在	所	職	捐	兵	名			
告	在	所	前降勞級	捐	兵	名			
復員者	[REDACTED]	[REDACTED]	5/1	營	[REDACTED]	[REDACTED]			
調	世	所	職	捐	兵	名			
音	話	員	前降勞級	捐	兵	名			
官	課	員	5/1	營	[REDACTED]	[REDACTED]			
所	復	員	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]			
見	人								

1. 本調書：甲號一、乙號二を調製する
 2. 甲號……總て調査官にて記入し（鉛筆亦にて可）郵便局へ送付する
 3. 乙號……郵便局にて甲號により三通調製

- 調査批語欄へ一通
 所管復員局へ一通
 同 指活課へ一通（指活課經由）
 4. 漢語は鮮鋭人で記入する

乙 現況不明者究明調書 (調査期日 昭和新潟ノ日)

調査官名	部隊等級・身分	氏名
6/1頁 5/警二中		
出身府県所管機関員名	前	入籍番號・登録は戻送元
新潟二・横・吳・佐		千島
申告事項	■の性に疑憶あり3ヶ月は疑問である 20-6-18 博愛丸で戦死してゐる等	
申告者	住 所	職業等級 氏 名
復員者	住 所	前職等級 氏 名
調査官	世話課	
月日	5/1完了の後處理の事 新潟	

- 本調査は甲號一、乙號三と調査する。
- 甲號……地べて調査官にて記入し（鉛筆にて可）新撰入に送付する。
- 乙號……新撰入にて甲號により三通調査
 調査世話課へ一通
 所管復員局へ一通 } 送付する
 同 世話課へ一通（復員局経由）}
- ※欄は新撰入で記入する。

85

6299

現況不明者究明調書 (調査期日 7月19日)

名前(姓) 引 部 隊 等級・身分 氏 名

60 貞五一 警水長 [REDACTED]

用 戸 所 在 地 管 球 局 方 面 入 現 事 業 気 値 は 原 値 元

[REDACTED] 佐 佐 千 島

申 10-6-1 万隊地引揚の為 ([REDACTED] 外三名と共に) 博多港
以便乗じて同日夕ノ敵機の空襲攻撃に依つて死没

告 救助された者7名ありが、此のみに付居候わづから海賊攻
撃の疑ふ
下記3名記事同じ

二 中西鶴
一 中西鶴
二 中西鶴

申 家 住 所 顔 桜 氏 名

出 張 住 所 部隊等 氏 名
者 [REDACTED] 工一警 [REDACTED]
二 中

別 何れも連絡員や常に同一配置で勤務して居た事よく知合
て居り一緒に便乗したに救助されなかつて是から見て確実
無事と認む

調 16] 上

斯 現

基 入

3. 本調査は甲號一、乙號三を調製する

4. 甲號一は被て脚在官にて記入し(鉛筆書にて可)郵便入に添付する

5. 乙號一は郵便入にて甲號二より三種調製

調査其證函 一通
所管有資券 一通
同 世話票 一通 (領貰局經由)

6. 領收は郵便入で宛入する

172

現況不明者究明調書 (調査期日 令月夕日)

番号	名前(姓)	部隊	等級・身分	兵	名
三 七 八 號	66頁	五 衛 所 隊	一 番		[REDACTED]
	出身府縣	所管復員局	方	面	入籍番號・軍屬は派遣元
	[REDACTED]	[REDACTED]	二・機・火・佐・ ^婦	千鳥	志

申告

10.6.18. 之江の便東北博覧九敵戦、雷撃一本
破り確認。陸戦北江
同人は千鳥島 平賀崎衛所勤務者である

事項

申告者	住 所	籍柄	氏 名
復員者	住 所	部隊等級	氏 名
調査官	本人は衛所勤務者の消息に相手詳しいと想はれしより 書類調査では詳細な調査困難であるから本署にて人を 旅し調査せられたい		
所見			

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總て調査官にて記入し(鉛筆書にて可) 調査人に送付する
3. 乙號……尋ね人にて甲號により三箇調製
 調査報告へ一通
 所管復員局へ一通
 同 甚しきへ一通(復員局経由) 送付する
4. 本欄は調査人で記入する

135-40

現況不明者究明調書 (調査期日所
長 9月3日)

案	名稱索引	部隊	等級・身分	兵	名
三	60 51 警一機曹				
三	出身府縣	所管復員局	方	面	入籍番號・軍屬は報達元
九	復	二・横・斐・佐・ 			

申 20. 6. 10. 博愛丸で戦死

譯観地方復員機務處理部

小	姓	住	所	籍	柄	氏	名
中							
外							
告	役員者	住	所	部隊等級	柄	氏	名
者				51 警	ナシ		

同 時 戰死の事に靈廟至當つか

話
音
語
類
編
復
見
入

- 本調書は甲號一、乙號三を調製する
- 甲號一 総べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可)舞復人に送付する
- 乙號一 舞復人にて甲號により三通調製
- 調査世話課へ一通
- 所管復員局へ一通
- 同 世話課へ一通(復員局經由)
- ※欄は舞復人で記入する

117

(調査期日所) 9月3日
 現況不明者究明調書

※	名前等引	部隊	等級・身分	氏名
三 三 五 號	60歳 51警 上中 [REDACTED]			
	出身	府縣	所管	直員局 方
	[REDACTED] 入籍番號・軍籍は派遣元			
	二・横・吳・佐・			

申 ZA 6.18 博愛丸で戦死

事

項

舞鶴地方復員委務處理部

十一

四

七

申告者	住 所	所管	職柄	兵 氏 名
申告者	[REDACTED]	[REDACTED]	51警士	[REDACTED]

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
 2. 甲號……總て調査官にて記入し(鉛筆書にて可)郵便人に送付する
 3. 乙號……舞鶴にて甲號により三通調製

- 調査課一通
 所管復員局一通
 同 調査課一通(復員局經由)
 4. 未滿は郵便人で記入する

1/2-10

(乙)

現況不明者究明調書 (調査期日所
6月29日)

※	名簿索引	部隊等級・身分	氏名
三	60頁 51	警上曹	[REDACTED]
六號	出身府縣所管課員局方	面入籍番號・軍事は深造元	
	二・横・吳・佐・ <small>辨</small>	千鳥	
舞鶴地方復員殘務處理部	申告人	スル 6. 18 博愛丸で戰死	
	姓	住 所	籍 程 氏 名
	族		
	復員者	住 所	部隊等級 氏 名
		[REDACTED]	上級曹
※	調査官所見	申告事項の直報理可とする	
七月九日			

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……控べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可) 錆復人に送付する
3. 乙號……錆復人にて甲號により三通調製
 調査官語課へ一通
 所管復員局へ一通
 同時語課へ一通(復員局経由) } 送付する
4. 案欄は錆復人で記入する

元海軍軍属未復員者調査票

連絡番号	又派 は遣 船元 名題 セイ ジ ツ ノ セ ツ	身 分 氏 名	生年月日	本籍 現籍 地 市 村 字
留守担当者	土工	姓 氏 名	姓 氏 名	住 所
採用又は抜用年月日 及部隊名 (輸出は船名及船主)	羽化 精用 不許 部隊 ハル様	司政官、機械、書記、技工等の別を記入して下さい	内地出港名、年月日、下さりますなら行先がわざいります	/
場外勤務の部隊名及 所	羽化 精用 不許 部隊 ハル様	司政官、機械、書記、技工等の別を記入して下さい	内地出港名、年月日、下さりますなら行先がわざいります	/
本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	差出年月日 附 檢閱者印 内 容	年 月 日 年 月 日 年 月 日	家族遭受飯食の情況と を書いて下さい	/
未處理者個人に対する情報	情報提供者 同右現住所	部隊 身分 氏 名	知者がありませんでしたか 共の他個人に就いて 参考になることを書 いて下さい	知者がありませんでしたか 共の他個人に就いて 参考になることを書 いて下さい
被殺者でしてその 状況を本欄に記入し て下さい	死亡年月日 死亡の場所 状況	本欄に未記入された場合は 本欄に記入して下さい	被殺者個人に就いて 参考になることを書 いて下さい	被殺者の個人情報を この欄には所属部隊の行動、戦斗状況(艦船事故ならその状況)を詳しく書いて下さい (特に場所、年月日を強調しない様にして下さい)
行方不明ならばその 状況を記入して下さい	原 原 年 月 日 場 所	本欄に記入して下さい	現役者は部隊で未 行方不明です	
記れく他 考				

長男

甲

現況不明者究明調書 (調査期日 / 月 2 日)

姓	名前家号	姓	名前	身分	氏
	55	五	一	華	主 長
申告者	田 庫 府 警 警 警 警	方	面	大 警 部 部 部	長
		三	橋・見・佐	千	島

主長は船員より / 月 甲。 十事務丸と草城大瀬にて
向うたつてあるが、片岡津口航行中、船体の雷撃の後
沈没した折戦死。
船員は高級 3、護衛艦 / (乗組員不明) + 6月 11 日
出港、途中を北に寄港し 6月 22 日 大瀬島、大瀬を出
港し 7月 20 日 次第度を回り、 [] 交付率 / 20% の
座重型レガリ 1 台 (7月 10 日?) 附で運行玉の室持
て立つて居る。

舞鶴地方復員残務処理部

調査官見

申告者	住 所	姓 氏 名
直轄者	[]	55 主 長
調査課	口述小向連 2- もと (きさ)	吉大瀬より、終焉連続して、戦没船の木柱を運送する 判立つて 3692 号 23 (運送船 5/ 番号 26 機械の体)
調査官見	春せんべいすれ済をした。 別明 (かみ)	

1. 本調書は甲號一、乙號三を調取する
2. 甲號……總て調査官にて記入し (船筆者にて可) 船員に送付する
3. 乙號……船員にて甲號により三通調取
 調査官見渡へ一通
 所管復員局へ一通 } 送付する
 同 佐活課へ一通 (復員局經由)
4. 本調は船員にて記入する

PP-11

(2) 現況不明者究明調書 (調査期日 令月 7 日)

通	兵種・階級・身分	氏名
一	上等兵	
二	出身地	方
三	役・職・姓・性別	千島

申告者 五十一警上曹 [REDACTED]
 甲 本地に着いてから不穏なあつたので自分は同郷人であり黙り
 ぬきまつて同郷人を多くなかつたが懐かしく頗る知りにうつすに置かうと思
 つて籍のそばに居た戦友に名前を尋ねた。[REDACTED]君はどこに居
 たと聞いたら戦友がそれまで戦死した。君の籍だから何かあるま
 利用して自分の荷物を入れてみんだと見て居た。何から思ふには云々
 人、連絡にて水博美九に戦死状様に考へられた。

舞鶴地方復員残務処理部

申告者	住 所	籍 種	氏 名
復員者	[REDACTED]	五十一警	[REDACTED]

調査官	調査官にて記入し(鉛筆にて可)郵便にて送付する
見人	被験者にて記入する

1. 本調査は甲號一、乙號三を調製する
 2. 甲號……總て調査官にて記入し(鉛筆にて可)郵便にて送付する
 3. 乙號……被験者にて甲號により三通調製
- 調査官
所管復員局へ一通
同 被験者へ一通 (復員局經由) } 送付する
- 167-10

4. 素描は被験者で記入する

1924

1925

紅色者
軍械
彈藥
武器
軍械
彈藥
武器

十二年十月

着毛瑟槍

一隻

10

6308

- 一、洋用 天然 新文 新舊 米軍 抑收
也已 此 顯
- 二、北 北 著 陳 三 軍文 付 活
北 北 南 即
- 三、總 總 事 事 總
王 作 利 葉 王 之 著 計
- 四、金 金 七 七 次 米軍 國
勝 勝 之 之 之 勝 外
- 五、海 海 勝 勝
- 六、木 木 勝 勝 之 之 確
勝 勝 之 之 之 勝 之
- 七、北 北 勝 勝 之 之 之
- 八、貴 貴 勝 勝 之 之 勝
勝 勝 之 之 之 勝 之

同	金匱	脚氣	同	38291	水	飯	(201-5)	(201-1)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38292	水	飯	(201-6)	(201-6)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38293	水	飯	(201-7)	(201-7)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38294	水	飯	(201-8)	(201-8)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38295	水	飯	(201-9)	(201-9)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38296	水	飯	(201-10)	(201-10)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38297	水	飯	(201-11)	(201-11)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38298	水	飯	(201-12)	(201-12)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38299	水	飯	(201-13)	(201-13)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38300	水	飯	(201-14)	(201-14)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38301	水	飯	(201-15)	(201-15)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38302	水	飯	(201-16)	(201-16)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38303	水	飯	(201-17)	(201-17)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38304	水	飯	(201-18)	(201-18)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38305	水	飯	(201-19)	(201-19)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38306	水	飯	(201-20)	(201-20)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38307	水	飯	(201-21)	(201-21)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38308	水	飯	(201-22)	(201-22)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38309	水	飯	(201-23)	(201-23)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
同	金匱	脚氣	同	38310	水	飯	(201-24)	(201-24)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

383/1	同 上	增 長	383/10	(20-8-1)		
383/2	同 上	增 長	383/11	(20-8-2)		
383/3	同 上	增 長	383/12	(20-8-3)		
383/4	同 上	增 長	383/13	(20-8-4)		
383/5	同 上	增 長	383/14	(20-8-5)		
383/6	同 上	增 長	383/15	(20-8-6)		
383/7	同 上	增 長	383/16	(20-8-7)		
383/8	同 上	增 長	383/17	(20-8-8)		
383/9	同 上	增 長	383/18	(20-8-9)		
383/10	同 上	增 長	383/19	(20-8-10)		
383/11	同 上	增 長	383/20	(20-8-11)		
383/12	同 上	增 長	383/21	(20-8-12)		
383/13	同 上	增 長	383/22	(20-8-13)		
383/14	同 上	增 長	383/23	(20-8-14)		
383/15	同 上	增 長	383/24	(20-8-15)		
383/16	同 上	增 長	383/25	(20-8-16)		
383/17	同 上	增 長	383/26	(20-8-17)		
383/18	同 上	增 長	383/27	(20-8-18)		

卷之九

6312

38311	38321	38325	38326	38327	38328	38329	38330	38331	38332	38333	38334	38335	38336	38337	38338	38339	38340	38341	38342	38343	38344	38345	38346	38347	38348	38349	38350	38351	38352	38353	38354	38355	38356	38357	38358	38359	38360													
[红]																																																		
水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水																	
胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶	胶																
(20-8-10)	(20-8-11)	(20-8-12)	(20-8-13)	(20-8-14)	(20-8-15)	(20-8-16)	(20-8-17)	(20-8-18)	(20-8-19)	(20-8-20)	(20-8-21)	(20-8-22)	(20-8-23)	(20-8-24)	(20-8-25)	(20-8-26)	(20-8-27)	(20-8-28)	(20-8-29)	(20-8-30)	(20-8-31)	(20-8-32)	(20-8-33)	(20-8-34)	(20-8-35)	(20-8-36)	(20-8-37)	(20-8-38)	(20-8-39)	(20-8-40)	(20-8-41)	(20-8-42)	(20-8-43)	(20-8-44)	(20-8-45)	(20-8-46)	(20-8-47)	(20-8-48)	(20-8-49)	(20-8-50)	(20-8-51)	(20-8-52)	(20-8-53)	(20-8-54)	(20-8-55)	(20-8-56)	(20-8-57)	(20-8-58)	(20-8-59)	(20-8-60)

三
軍
械
修
造
所

死役者調書

加一ノ八
表

六
新
地
沂
現
沂
屬
部
豫

入
國
年
月
官
等
級

事
業
作
事
年
月
氏
名

役
種
工
作
年
入
等
級

功
勞
概
要

昭和十九年九月廿日

呈達

昭和十九年工日立日

南支九十九方

西支九十九方

昭和十九年九月二日

石工場部隊

布軍事處支八
行狀狀況

昭和三年九月之日大隊、分多々、さくす向通ひに御通入會

昭和二十年七月十八日

3656

現 所 屬	本 落 地	官等 級	海軍 軍工 作業 部
第 二 南 支 那 軍 隊	第 一 支 那 軍 隊	入 籍 番 號	

(一) 水調書、部隊長又、殘務取扱者等ニ於テ某地方復員局人事部
長宛通報ニ付記載ス
吳鎮在籍、特務士官、准士官、下士官兵ニ付記載ス
同府縣人勿論他府縣出身者ニ就テ記載ス
知得シ止範圍ニ於テ出来得ル限り詳細ニ記載ス
他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス
送付先

吳市
吳地方復員局人事部長宛

死沒者證書

1789
36559

本	書	也	
所屬	部隊	鹿尾號定基號大付 1927 加也凡	部隊
入軍年月	昭和十九年八月十三日	役種	水兵
官等級	水兵	姓氏	水兵
內地出生	昭和十四年四月一日	生年月日	
戰地到着年月日	昭和二十一年三月二日	能吉便能	
歸國二年三月二日	昭和二十一年三月二日	舊界名	着
勤務機關	百十一震洋甚隊	入籍參照	
今病發於三月	昭和二十一年八月二日		
病名(麻湯病)	至		
奉公(立場)又	病		
戰此時、狀況	高熱、食量不減、不能起身又一頭痛	年月日	
登記官員所	昭和三十一年九月十二日午前四時半		
右中告人			

182

6316

36560
36562

本現所印

大考

官等印
入舊存印

正軍二等又上等

(内) (内) (内)

長充過報三事

誤名之付記載久

吳鎮在持持者三官准文官下士官兵三付記載久

同者縣人勿論地村縣出身者三就之記載久

知得之者並圖於字未得之服之詳細之記載久

他今將至承知ニタル事項各當該湘籍奉方之記載久

送付生

吳印

吳地方復員局又軍部長充

現 聲 紙 明 書

ハホウ移地

官事報

海軍工藝兵計手書

一式

名

歎役年月日

昭和二年、八月十七日

歎役場所

和歌尚可島 (アカシマ) (大正十四年五月)

歎役人承認

昭和二年八月廿一日敵帝羅同時ノ第瓦國五部隊ニ

配属

海軍工藝兵計手書

指揮官下署

前線ニ在リ糧食物資、被服、軍事、空襲、暴風
給食作業等に投身中歎役年月日
于野營著於ノ本草為廢棄 (ヨウキイ) 繁榮起上
ナムニルトノ野營暴風院ニ送致

陸

每

是
乃
高
野
者
（
乃
一
地
也
）
野
暮
私
院
之
後
逃
脫
和
平
年
月
十
日
逃
往
新
嘉
坡
也
大
理
銀
假
也

明
和
三
年
六
月
二
十
日

原
義
祐

是
乃
高
野
者
（
乃
一
地
也
）
野
暮
私
院
之
後
逃
脫
和
平
年
月
十
日
逃
往
新
嘉
坡
也
大
理
銀
假
也

元
治
元
年
月
十
日

是
乃
高
野
者
（
乃
一
地
也
）
野
暮
私
院
之
後
逃
脫
和
平
年
月
十
日
逃
往
新
嘉
坡
也
大
理
銀
假
也

是
乃
高
野
者
（
乃
一
地
也
）
野
暮
私
院
之
後
逃
脫
和
平
年
月
十
日
逃
往
新
嘉
坡
也
大
理
銀
假
也

元水

在者昭和三年八月十四日更石島にて傳染病「セカリ」に
罹り同年九月十七日在島よりト音讯無し。二
二三〇この症候をましまつて、故昭和三年八月二十日午後
に死んでしまふ。

昭和二年

病名傳

昭和二年八月二十日

死因不在にて右彈丸すくい取らる。

右等

右等

本圖書室

香川縣

鶴屋信之藏

死歿者 詞書

632 /

本
現
所屬部隊
氏
名

官等級
階級

印

人籍番号
官等級
階級

備考

- 一、本調査ハ部隊長又ハ殘務取扱者等異地方復員局人等部長充當
スヘキ青仕者ニ於テ知得シアラズト認ムレモノニ付記載ス
- 二、是鎮在籍ノ將務士官、准士官、下士官、兵ニ付記載ス
- 三、同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就キテモ記載ス
- 四、知得ナル範圍ニ於テ出未得也限り詳細ニ記載ス
- 五、他人ヨリ聞キテ承認シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス

6363
20年 8月 11日發表

證明書

本籍地 海軍上等兵曹補兵
軍外武志

右者は出水海軍飛隊隊員昭和十九年一月同隊卒二十日
隊上志就兵士として除し此れ十九年九月同謀社主犯一同月
普通科整備所彈頭もと一等十三分隊に入同謀社中
昭和二十一年一月一日同隊病院に於て流行性腦膜炎のため
死亡せり

同队に於てキニコラ隊士キニコラ隊士と頭長人の教官
と之類属し又う者の死に奔走して立食のまゝ
右被害人出水海軍飛隊隊員の死に心をこめて
謹此証

昭和二十一年七月三十日

現役所
實業官委員会 海軍少尉

95-25

(調査期日 7月7日)
 現況不明者究明調書

名前小引 部 隊 等級・身分 氏

61/51 警 水 長

出身 班 縣 所管 指定局 方 面 人跡消失・復員は鉄道元

復・横・見・佐・千 島

申 は自らの同年者であり同じ水警隊(片岡)に属して親し
い仲であるが、父有志と一緒に博愛丸に便乗して他の人に向か
る船内へと進み、あつた時生存者中には船長らしき人物の確
認が出来ぬことに違ひない。後で同僚の話には片岡会員連
つて中に入つたと聞いてゐる。

申	在	所	級	指	氏	名
者	住	所	部隊等級	指	氏	名

戰没認定を爲す

- 本調査・甲號一、乙號三を調製する
- 甲號一 総務課窓口にて記入し(船筆書にて可)・郵便入にて送付する
- 乙號一 邮便入にて甲號により三項調製
調査課點認へ一通
所管係員局へ一通
同 正活課へ一通(複員局経由)
4. 水印は郵便入で記入する

82

乙

現況不明者究明調書 (調査期日 所
場 調査期日 所
場)

被	名簿索引	部	隊	等級・身分	氏	名
三	61/頁 1/號	上	曹			
四號	出身府県	所管復員局	方	面	入籍審議・軍属は候證免	
	[redacted]	二・横・吳・佐・御	千	島		

舞人

申告事項

昭6.18 博愛丸で戦死

舞拙地方復員事務局
障害者処理部

昭6月九日

申告者	住	所	讀稱	氏名
復員者	住	所	部隊等級	氏名
調査課				
官所見	申告事項の通り復員可とする			

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する。
2. 甲號……總べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可) 無復人に送付する。
3. 乙號……無復人にて甲號により三通調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通 } 送付する
同 世話課へ一通 (復員局認由)
4. 某欄は無復人で記入する。

現況不明者究明調書 (調査期日 月日)
新潟

被疑者名	姓	諱	等級・身分	氏名
6/1 警二番				
出奇府縣所管直員局方	面	入籍番號・年齢は該地元		
二・横・吳・佐・千島				

申 6. 10 博愛丸で戦死

告

布

項

辨
理
處
理
部

申	家	住	所	綱	柄	氏	名
族							
告	住		所	部隊等級		氏	名
客				上機神			

世
活

登
記

官
所

復
見

申告事項の通り収容を可とする

※ 七月六日

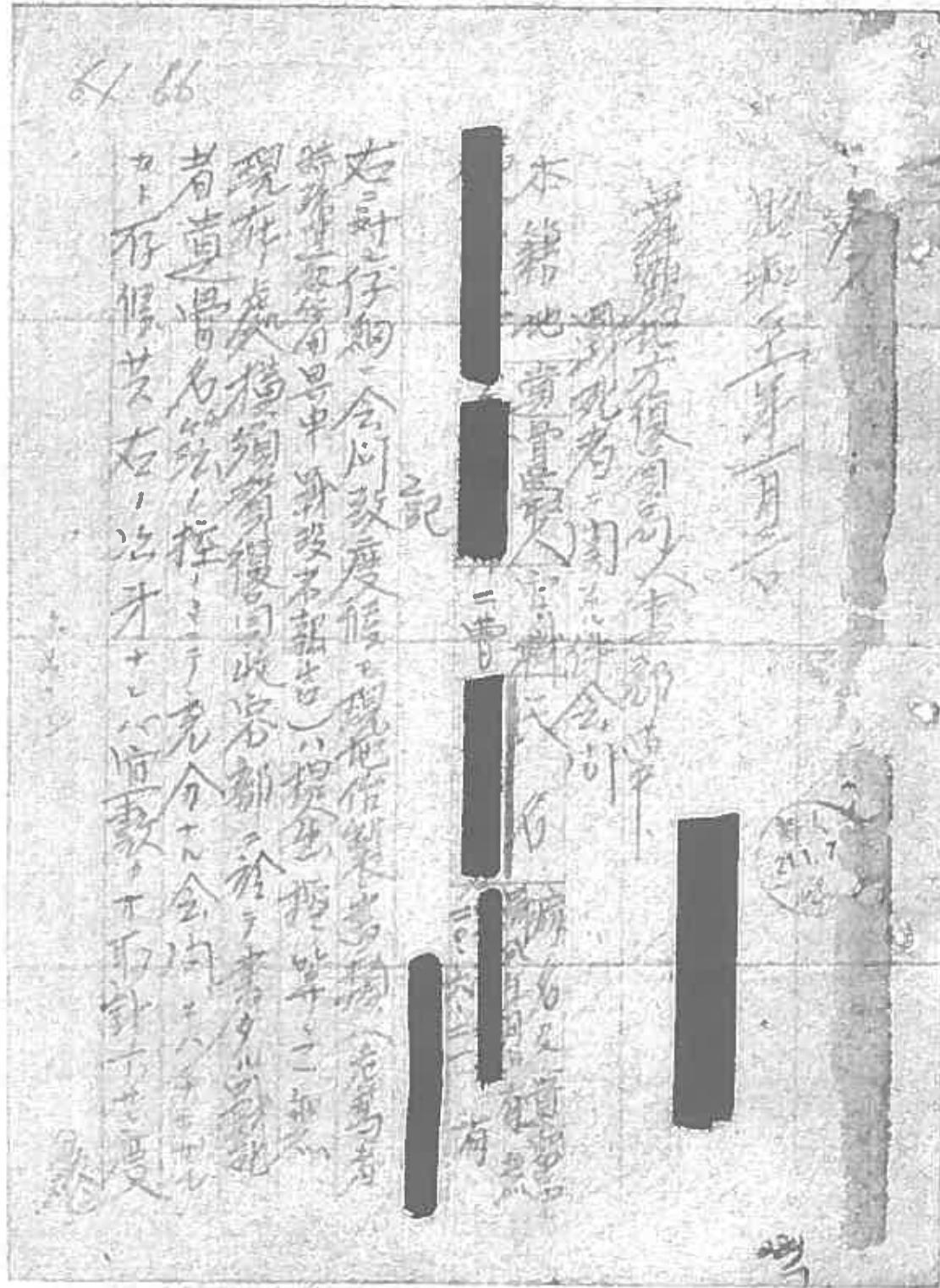
1. 本調書は甲號一、乙號三と調製する
 2. 甲號……總てて調査官にて記入し(鉛筆書にて可)新規人に送付する
 3. 乙號……新規人にて甲號により三通調製
- 調査官記入
所管復員局へ一通
前 世活連一通(復員局經由)
4. 该欄は新規人で記入する

元海軍軍屬未復員者調査票

本格化

5

退船番号	又派 は遣 船元 名姓	身分 氏	名	生年月日	今現 地
留守船當者	軍人及 械柄	母		■■■■■	■■■■■
用志類、 用等の數用、 現地探 査用等の 事項	職司、政官、筋距、書記、 等の別を記入し下さい				
採用又は效用年月日 及部隊名	昭和19年8月20日 中華人民共和国海軍				
船員は船名及船主 場外勤務の部隊名及 勤務の部隊名及	■■■■■	洋			
本人からの最後手 紙に就いて御記入下 さい	益出日附 受領年月日 検閲者印 内客	年 月 日 年 月 日			
家族の承知されてゐる情況					
職名	職名	職名	職名	職名	職名
志願、 効用、 現地探 査用等の 事項	等手司、政官、筋距、書記、 等の別を記入し下さい	内場内埠出港年月日、 下かりますなら當初が地 下かりますなら當初が地	内場内埠出港年月日、 下かりますなら當初が地	内場内埠出港年月日、 下かりますなら當初が地	内場内埠出港年月日、 下かりますなら當初が地
採用又は效用年月日 及部隊名	昭和19年8月20日 中華人民共和国海軍	取扱かつてゐる經理 部隊を書いて下さい	取扱かつてゐる經理 部隊を書いて下さい	取扱かつてゐる經理 部隊を書いて下さい	取扱かつてゐる經理 部隊を書いて下さい
船員は船名及船主 場外勤務の部隊名及 勤務の部隊名及	■■■■■	洋	■■■■■	■■■■■	■■■■■
本人からの最後手 紙に就いて御記入下 さい	益出日附 受領年月日 検閲者印 内客	年 月 日 年 月 日			
歸還者からの情報 (自船員の方は本欄に本船に上りきる者個人に対する事とし、他の部隊の情報は記入して下さい)					
未処理若個人に対する情報	未処理若個人に対する情報	未処理若個人に対する情報	未処理若個人に対する情報	未処理若個人に対する情報	未処理若個人に対する情報
情報提供者	部隊	身分	名	監還者の属してゐた部隊の情報	
同居現住所	山東省	四兵		この欄には所属部隊の行動、艦隊状況(隠船等ならその状況)を詳しく述べて下さい	
入たかから何時は何處で何時 しかた状況はどうして本艦に記入して下さい	本軍底に軍人に係入され と鳥尻印東省平村岸邊に上 り溝井に下り行 走	死	監還者に上りておりましたか否 しを尋ねて下さい	(特に場所、年月日を渡らさない様にして下さい)	
状況を本艦に記入して下さい い名を死ぬ病死なら病 い名を死ぬ病死なら病	死亡年月日 昭和26年6月20日	死	監還者に上りておりましたか否 しを尋ねて下さい		
行方不明ならばその 状況を記入して下さい	年月日 因	死	監還者に上りておりましたか否 しを尋ねて下さい		
記れく他に本人の消息をま し方ててねると思はば い氏名を記入して下さい	場所	死	監還者に上りておりましたか否 しを尋ねて下さい		
備考	氏より更昭和22年3月15日附許可番号[■■■■■]にて更				

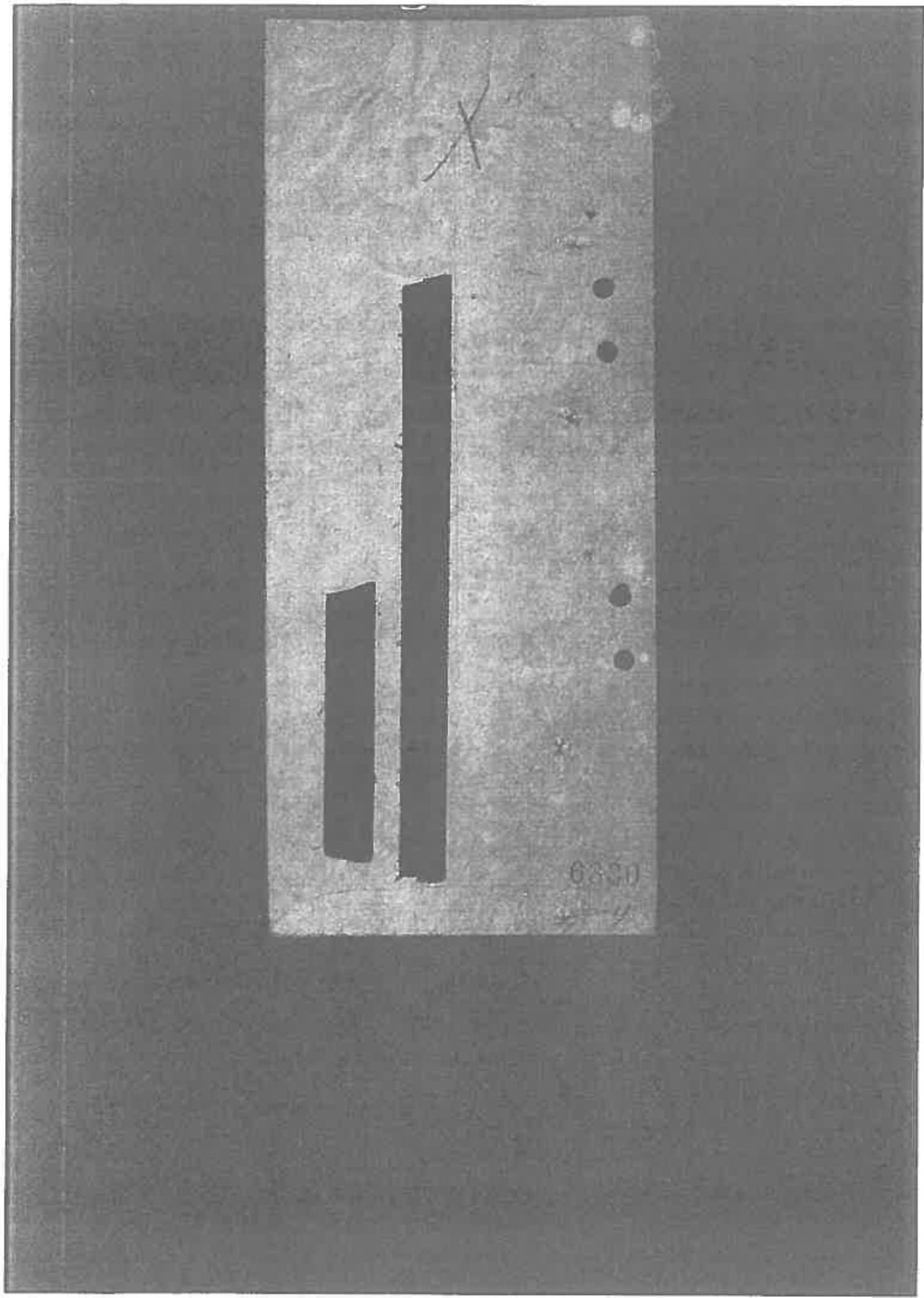


朱鶴方復同人
事初傳

282-12

李

6329



光復方調查特使

奉 諸 賈

方規往浙

門為都隊

官軍少

軍械

現時

物資

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

為

軍

現

元海軍軍人現況不明者調書

卷之三

6332

4.

現況不明者究明調書

(調査期日所)

月 日
未者ニ世

名簿番号	年	隊	等級・身分	氏名
60. 5/1 警二曾 [REDACTED]				
出身府県	所管機関	方	面	入籍番號・軍籍は記述元
[REDACTED]	二・機・契・佐・團			千鳥
市 20. 6. 22 右守島 岩口於て識別確認				
告白事項				
申告者	姓	住 所	報稱	氏 名
被取扱者	姓	住 所	部隊等級	氏 名
調査官	申告者の言に相違なしとの思考す			
見回人	處理品類 (略)			

1. 本調査は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……越えて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）郵便人に送付する
3. 乙號……郵便人にて甲號により三通調製
4. 調査官へ一通
5. 所管復員局へ一通
6. 既存の所管へ一通（復員局経由）
7. 送付する
8. 送付する
9. 送付する
10. 送付する
11. 送付する
12. 送付する
13. 送付する
14. 送付する
15. 送付する
16. 送付する
17. 送付する
18. 送付する
19. 送付する
20. 送付する
21. 送付する
22. 送付する
23. 送付する
24. 送付する
25. 送付する
26. 送付する
27. 送付する
28. 送付する
29. 送付する
30. 送付する
31. 送付する
32. 送付する
33. 送付する
34. 送付する
35. 送付する
36. 送付する
37. 送付する
38. 送付する
39. 送付する
40. 送付する
41. 送付する
42. 送付する
43. 送付する
44. 送付する
45. 送付する
46. 送付する
47. 送付する
48. 送付する
49. 送付する
50. 送付する
51. 送付する
52. 送付する
53. 送付する
54. 送付する
55. 送付する
56. 送付する
57. 送付する
58. 送付する
59. 送付する
60. 送付する
61. 送付する
62. 送付する
63. 送付する
64. 送付する
65. 送付する
66. 送付する
67. 送付する
68. 送付する
69. 送付する
70. 送付する
71. 送付する
72. 送付する
73. 送付する
74. 送付する
75. 送付する
76. 送付する
77. 送付する
78. 送付する
79. 送付する
80. 送付する
81. 送付する
82. 送付する
83. 送付する
84. 送付する
85. 送付する
86. 送付する
87. 送付する
88. 送付する
89. 送付する
90. 送付する
91. 送付する
92. 送付する
93. 送付する
94. 送付する
95. 送付する
96. 送付する
97. 送付する
98. 送付する
99. 送付する
100. 送付する
101. 送付する
102. 送付する
103. 送付する
104. 送付する
105. 送付する
106. 送付する
107. 送付する
108. 送付する
109. 送付する
110. 送付する
111. 送付する
112. 送付する
113. 送付する
114. 送付する
115. 送付する
116. 送付する
117. 送付する
118. 送付する
119. 送付する
120. 送付する
121. 送付する
122. 送付する
123. 送付する
124. 送付する
125. 送付する
126. 送付する
127. 送付する
128. 送付する
129. 送付する
130. 送付する
131. 送付する
132. 送付する
133. 送付する
134. 送付する
135. 送付する
136. 送付する
137. 送付する
138. 送付する
139. 送付する
140. 送付する
141. 送付する
142. 送付する
143. 送付する
144. 送付する
145. 送付する
146. 送付する
147. 送付する
148. 送付する
149. 送付する
150. 送付する
151. 送付する
152. 送付する
153. 送付する
154. 送付する
155. 送付する
156. 送付する
157. 送付する
158. 送付する
159. 送付する
160. 送付する
161. 送付する
162. 送付する
163. 送付する
164. 送付する
165. 送付する
166. 送付する
167. 送付する
168. 送付する
169. 送付する
170. 送付する
171. 送付する
172. 送付する
173. 送付する
174. 送付する
175. 送付する
176. 送付する
177. 送付する
178. 送付する
179. 送付する
180. 送付する
181. 送付する
182. 送付する
183. 送付する
184. 送付する
185. 送付する
186. 送付する
187. 送付する
188. 送付する
189. 送付する
190. 送付する
191. 送付する
192. 送付する
193. 送付する
194. 送付する
195. 送付する
196. 送付する
197. 送付する
198. 送付する
199. 送付する
200. 送付する

200-B

6334

元海軍軍人未処理看詰書

監理番号	新規年月日 那支連隊本部 印	等級 軍属	氏名 姓 氏	生年月日 本姓 元姓 市姓 新姓	本姓 元姓 市姓 新姓
留牛番当者	妹	職柄 姓 氏	籍 姓 氏	原籍 姓 氏	住所 姓 氏
家族の承知をえてある情況					
内地出港年月日、場所、乗船名、行先名を記入して下さい	内容	登録年月日 印	登録年月日 印	登録年月日 印	登録年月日 印
郵便局からの手紙に於いて御記入下さい	内封	内封	内封	内封	内封
脚送者からの情報 (脚送者の方日本側未處理者遇へて對するごとに) 未処理者個人に対する質問					
情報提供者 連隊等級 姓 氏	名 軍属	入籍年月日	脚送者の屬してゐた部隊の情報		
現住所			この欄には所属部隊が行動・戦斗状況(艦船事故)などの状況を詳しく書いて下さい (特に場所、兵員を揃らさない様にして下さい)		
本人から何回電話をして下さい 又は又削れる場合など記入して下さい			1952年4月から毎月連絡文書にて連絡が 該艦は立候を以て戦死		
死因を本欄に記入して下さい 死因を記入して下さい	死因 死	死亡年月日 昭和22年4月14日	現該者 [] は當時 [] に於て たゞ [] 軍令と連絡して居る		
行方不明か逃亡者は らばその状況を記入して下さい	現地 場所	死亡の場所 馬鹿部隊にて			
記載く知つてゐる方の住所を じて下さり	年月日	現地 場所			
備考					

昭和五年六月七日

6336

元第百一海軍燃料廠支廠全課長

元海軍主計少佐

各地復員局人事部長殿

特務官職充行方不明狀況報告

先般六月一日附テ以テ復員セシタル際第百一海軍燃料廠夕カシ支廠
三脚天下士官兵ノ、歿死半数不明、モロタイ波輸送者名簿ヲ因
總務課多賀タリシ

技術大尉ニ貴部充連絡搜出ニシトニ依

頼致、是處特務官直屬上、右ダ、狀況報告書ナシ、總ト相成リ

居候事件報告致候

記

海軍中尉(秋丸ノ隊ノ階級)以下全員

昭和三十一年六月二十八日木南ボルネオダラカ島及ブニユ島間海上
於テ豪軍艦、載艇等機銃掃射ヲ受ケ其後行方不明。

筏漂流中右胸中騎ト行動ヲ失シ居リタル者不回ノ時
還者 [REDACTED] (三工曹)一活ニシテ又モタイン輸送セシケル者ノ
豪軍名浮云記載ニ非サリ更ヨリ考ヘ歿死ト認定セラレ可ト
思考ス、秋丸、可能性九九%

海軍中尉

昭和三十一年六月六日南ボルネオタラカ島青葉山附近遭行
侦察第二出發ノ際第三番陣地附近ニ於テ頭部貫通銃創
ヨリ戰死

01615

6337

03-12

6338

海軍兵曹長

中尉

5405

16891

昭和三十一年六月二日南木ト不才タクシ高一〇二高地前敵陣地夜
撃チノ降敵自動火銃ニテノ戰死頭部下胸部貫通銃創

海軍主計中尉

昭和三十一年六月二日南木ト不才タクシ高一〇二高地前敵陣地夜

昭和三年五月十九日南ボルガオテカノ島ニ於テ捕獲
トチモロクイニ輸送セラハ 段ニ帰堂消すム

海軍火器

海軍衛生兵曹長

支那二年同

尚道骨道呂全無之、但シ遺骨ノ代リモト思ヒ 多ニカノ砂
洋日海軍燃料廠タカカ支廠、然瓦石一月ノ勤トシテ 番三復員尙需品部
真下向員ニ道骨名添ト共ニ持去於シ墨キ帳目

(終)

西復

生存者 戰死者	報告者所轄(部隊)	報告者之實職、氏名	報告者之本籍及現住地	第五十一警備隊
名 入籍者 身 地	入籍者 身 地	○ 二機西番	地 生 報 告	第五十一警備隊
現 情 報 告	○ 20 6	地 地 地	地 地 地	
地 地 地	地 地 地	地 地 地	地 地 地	
不 明	不 明	不 明	不 明	

乙

現況不明者究明調書 (調査期日 7月17日)

名簿索引	部隊等級・身分	氏名
一五 八 號	60 五一警二曹	[REDACTED]
出身府縣所管復員局方 面	入籍番號・軍屬江原道元 二・横・吳・佐・孫	千島徵
人第 事 之 調	20-1 喰自洋丸にて引揚々際同船沈没の際 戰死 (確實)	
舞鶴地方復員殘務處理部	住	所籍稱氏名
中一ノ佐 役者	住	部隊等級 氏名
調 詔 官 所 見	自洋丸と共に海没した者と認む	
七 月 三 十 日	戰死として處理する	

- 本調書は甲號一、乙號三を調製する
- 甲號……總べて調査官二七記入し（鉛筆書いて可）審査人に送付する
- 乙號……被復人にて甲號により三通調製
- 調査世話課合 通
所管復員局 一通 } 送付する
間 世話課 一通 (復員局経由)
4. 葉欄は被復人で記入する

120

(乙)

現況不明者究明調書 (調査期日所長 9月3日)

三 三 三 號	名簿索引	部隊等級・身分	氏名
	60頁51	警二中	[REDACTED]
	出身府縣所管復員局方	面入籍番號・軍屬は派遣元	
	二復・横・吳・佐		
申告事項	昭6.18博愛丸で戦死		
舞鶴地方復員業務處理部	申告族	住 所	姓 氏 名
	復員者	住 所	部隊等級 氏名
※	調査官所見	世話課	舞鶴認定室
十月一日			

1. 本調査は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し(铅筆書にて可)該復員人送付する
3. 乙號……舞鶴人にて甲號により三通調製
 調査世話課へ一通
 所管復員局へ一通 } 送付する
 同 世話課へ一通 (復員局經由)
4. ※欄は該復員人で記入する

(20-1)

6342

(乙)

現況不明者究明調書 (調査期日 新月又日)

※	名前索引	部隊等級・身分	氏名
二	出身府縣所管也員局方	面入籍番號・軍籍は原籍元	
二 號	復・横・吳・佐・御千	鳥	

正6. 15 博愛丸で載非

舞鶴地方復員殘務處理部

※七月九日

申告人	住 所	籍柄	氏名
申告者	住 所	部隊等級	氏名
調査官	申告事項の通處理可とする		
見復人			

- 本調書は甲號一、乙號三を調製する
- 甲號……總べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可)舞鶴人に送付する
- 乙號……舞復人にて甲號により三通調製
 調査世話課へ一通
 所管復員局へ一通
 商 情話課へ一通(復員局經由) } 送付する
- ※欄は舞復人で記入する

118

元海軍軍人現況不明者調書

長
城

38

元海軍軍人現況不明者調書

登録番號		所籍(在令年月日)		等級		氏名		生年月日		入籍番號		本籍地	
(略)		(略)		(略)		(略)		(略)		(略)		(略)	
留守擔當者		南西里		旅長		旅長		年月日		年月日		年月日	
既知事項		一、佐世保人事 業務調資料		一、けり還骨有無(回送留品有無)		旅長		旅長		旅長		旅長	
二、世話課(君) 資料		二、内地履歴年月日		三、家族(身寄) 承知事項		旅長		旅長		旅長		旅長	
被者情報		内地履歴年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
示の隊部		年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
所屬部隊に關するもの		昭和年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
(これ以上に詳細且つ正確な情報があるときは別紙に記載のこと)		(略)		(略)		(略)		(略)		(略)		(略)	
一、編成の時期及び場所(諸々)　二、内地出撃の時期及び場所(諸々)　三、撤出要領		年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
二、その時の本		年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
自昭和年月日		至昭和年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
52-11													
現況不明者個人を關するもの		現況不明者個人を關するもの		現況不明者個人を關するもの		現況不明者個人を關するもの		現況不明者個人を關するもの		現況不明者個人を關するもの		現況不明者個人を關するもの	
被者情報		内地履歴年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
示の隊部		年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
所屬部隊に關するもの		昭和年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
(これ以上に詳細且つ正確な情報があるときは別紙に記載のこと)		(略)		(略)		(略)		(略)		(略)		(略)	
一、編成の時期及び場所(諸々)　二、内地出撃の時期及び場所(諸々)　三、撤出要領		年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
二、その時の本		年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	
自昭和年月日		至昭和年月日		旅長		旅長		旅長		旅長		旅長	

総括		船舶有価 乗便		事故の状況 に船に上るよ		航行一同と着期不況現 動行別と着期不況現		現状の戦闘動	
底 部 分		報案二段 調査以 後にお いてい る情		一、艦船名 三、行動の概要 (イ)出港地及び年月日 (ロ)寄港地及び年月日		二、行先 路 年 月 日		六、終戦時の状況 八、歸還の状況 (イ)船員数 (ロ)傷病者数 (ハ)集結又は收容地 (シ)残留者 (ス)始生	
(公)		佐世保人事事務課		五、事故の原因及びその年月日 (空襲、雷水爆、砲戦) 六、事故発生の位置、被害の状況 七、救難の状況		四、乗組者の所轄、軍人、軍屬別員数		七、終戦時の状況 九、開港場所	
(公)		佐世保人事事務課		206 14 神経		路 年 月 日		八、歸還の状況 (イ)船員数 (ロ)傷病者数 (ハ)集結又は收容地 (シ)残留者 (ス)始生	
(軍)		佐世保人事事務課		206 14 神経		路 年 月 日		九、開港場所	
(軍)		佐世保人事事務課		206 14 神経		路 年 月 日		九、開港場所	
(不)		佐世保人事事務課		206 14 神経		路 年 月 日		九、開港場所	
(生)		此語譜(科)にて制定		206 14 神経		路 年 月 日		九、開港場所	
(員)		此語譜(科)にて制定		206 14 神経		路 年 月 日		九、開港場所	

答

員の場合

石井九郎助

貴政義勝時
主事勤務分
トトトトトトトト

新嘉長吉等に言ひて之を申す

即日急報傳て取扱事は現地へ派遣してモ慶祝せ見り

連隊即ち別長官の御人。その手に被服等終り除權と

詔書本ありまし共其の後一ヶ月直に除權有を讀厚く

ましと云ふ連隊の一部五〇四連隊者年入年しての事

本木山口最
後此處にと極
是年九月一日

本木山口海明



西高麗
金剛
通川

平城

(註)

人掛復員局一九
支那上陸日
彼の所懲

一) 本支那人掛内是市下山手町是地方復員業務處理部復員事務課顧問係必
速送一二月三日

四) 知得事項半ば推定入ても結構ですが、細々と記述一二万字

の消息は破滅的よりが伏せられ得事項であります記述以下